

「牧師室」(2016年3月20日)

3月14日から18日まで、わたしは、横浜市立みなと赤十字病院での「集団リハビリ」を受けるために入院致しました。同病院の耳鼻咽喉科医師である、賜物豊かで、多くの実績を上げておられる新井基洋先生の御指導を受ける為でした。これまで3回外来患者として、診察を受けていましたが「集団リハビリ」の長所が大きいことを聞き、入院を決めました。

一番強く教えられたことは、DVDと書物による一人でのリハビリには限度ある、ということでした。これらによって確かに一人でもリハビリは出来ますが、自己流になり、手加減をしまっていることを痛く知らされました。更に、書物では一日三回行うことが必要であると書かれています。現職の牧師として、それだけの時間を取ることが出来ませんでした。それではめまいは、何時までも治らないことは明らかです。今後はもうそういうことは言ってられません。5日間、入院、診察、リハビリ、そして退院と慌ただしい日々でした。血流を良くするための点滴(一日2回、各100CC)があったことは、想定外でした。今回集団リハビリを受けた人は10人で、毎回その数が限度のようです。

特筆すべきことは、多忙な新井医師をボランティアとして助けているインストラクターの人たちの働きです。早朝7時半から始まるわれわれ入院患者のリハビリをほぼマンツーマンで指導下さいました。この方々には、特に感謝せずにはられません。ここ10年間わたしには入院の経験はありません。めまいに苦勞しているとは言え、健康には恵れていたのです。